

会 議 録

会 議 の 名 称	三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた研究会（第4回）
開 催 日 時	令和5年1月27日（金） 開会時刻 午後2時00分 閉会時刻 午後3時00分
開 催 場 所	武蔵野市役所 412 会議室
出 席 者 *はオンライン参加	研究会 構成員
	保田 暢彦 東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社 三鷹駅 駅長
	古川 豪 関東バス株式会社 武蔵野営業所 所長
	信田 健一 関東バス株式会社 武蔵野営業所 副所長
	市川 篤 西武バス株式会社 上石神井営業所 副所長
	鶴本 和則 西武バス株式会社 滝山営業所 副所長
	千田 裕 一般社団法人 東京ハイヤー・タクシー協会 武三支部 顧問
	横山 美江 社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会 地域福祉推進係長
	早川 友紀 社会福祉法人 武蔵野 ワークセンター大地 施設長
	菅原 誠治 公益財団法人 武蔵野市子ども協会 事務局長
臺 孝之 三鷹駅北口商店会 会長	
羽鳥 光明 武蔵野市中央地区商店連合会 会長	
園部 一之 八丁商和会	
平田 淳一* 公益社団法人 武蔵野法人会 事務局長	
阪本 卷子* 公益社団法人 武蔵野法人会 課長	
	アドバイザー
	大沢 昌玄 日本大学 理工学部 土木工学科 教授
	オブザーバー
	警視庁 武蔵野警察署 交通課 武蔵野市 都市整備部 道路管理課 武蔵野市 都市整備部 交通企画課
議 題	1 はじめに 2 研究会（第3回）の振り返りについて 3 庁内・アドバイザー委員会（令和4年度 第1回）等の開催結果について 4 報告書（案）について 5 今後の進め方について 6 その他連絡事項
事 務 局	まちづくり推進課

発言者	発言の要旨
	<p>三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた研究会（第4回）</p> <p>1 はじめに ～事務局より挨拶～</p>
<p>A構成員</p> <p>B構成員</p> <p>事務局</p> <p>C構成員</p> <p>アドバイザー</p> <p>D構成員</p> <p>E構成員</p>	<p>2 研究会（第3回）の振り返りについて</p> <p>3 庁内・アドバイザー委員会（令和4年度 第1回）等の開催結果について</p> <p>4 報告書（案）について ～事務局より、資料1及び資料2を説明し、その後意見交換～</p> <p><b>報告書（案）について</b></p> <p>阪神淡路大震災から28年、東日本大震災から約12年が経過した。特に災害時の対応を想定すると、三鷹駅北口には十分な空間を確保することが求められる。駅前広場の拡張について「不確実な将来の変化に備え、冗長性(余裕)を持たせて拡張することが重要である。」の文章の後に、災害に関する文言を追加していただきたい。</p> <p>補助幹線道路の幅員や幅員構成について教えてもらいたい。補助幹線道路の交通処理能力によっては、自家用車を駅前に入れない街づくりも考えられるのではないかと。長期的には、自家用車に頼らない街づくりを目指してもらいたい。また、荷捌き車両の扱いについては、具体的に検討してもらいたい。</p> <p>補助幹線道路は歩道のある片側1車線の道路となる。区間毎に若干の幅員構成の違いはあるが、武蔵野タワーズの区間が比較的完成形に近い。</p> <p>「新たな移動手段の実用化」について、将来的な可能性を考える必要はあるが、電動キックボードなどの最近のシェア型交通について、区部をはじめ普及しつつあるものが、三鷹駅北口においても地域ニーズがあるのか研究してもらいたい。</p> <p>建替え時のルールを事前で作ることは、路外の荷捌きスペース等の必要な交通インフラを整備、誘導する上でも有効である。</p> <p>庁内・アドバイザー委員会の意見として、交通手段が自家用車から自転車に変わることは肯定的に捉えるべきではないかと紹介されているが、歩行者の視点を持ち、まずは現状の課題である安全な交通環境の整備に優先的に取り組んでいただきたい。</p> <p>自転車利用の多さは三鷹駅北口の特徴の1つであることから、歩行者中心の街づくりを推進しつつも、自転車利用者の視点にたった迷わず安全に移動できる環境づくりを検討してもらいたい。「自転車と歩行者が共存できる街づくり」を推進し、歩行者と自転車の空間を住み分けられるよう、にぎわいのエリア内、特に駅前広場や歩行者専用化する道路内に進入する自転車に対して、押し歩きを誘導する等の安全利用啓発や整備形態を検討していただきたい。</p> <p>駅周辺のデザインにばらつきがないように、三鷹駅北口のコンセプトに合った街づくりを進めてもらいたい。三鷹駅の南北で同じような街にする必要はないが、武蔵</p>

発言者	発言の要旨
<p>アドバイザー</p> <p>F 構成員</p> <p>アドバイザー</p>	<p>野市と三鷹市で上手く連携を図りながら事業を推進してもらいたい。例えば、今までにバリアフリーや広場の拡張、イベント空間等の意見があったが、最終的には一つのコンセプトにまとめられると良い。再整備後も駅を下りた時には、「北口らしさ」が活かされていくと良い。</p> <p>駅周辺のパブリックスペースのデザイン調整は重要である。玉川上水等の高いポテンシャルをどのように一体的に見せるか。三鷹駅北口のコンセプトに合わせて、景観の専門家による十分な検討が必要である。また、民間開発のデザイン調整については、第三者的立場から調整機能を持たせると良い。</p> <p>この事業は特に、地権者の生活への影響が大きいことから、丁寧に分かりやすい言葉で説明し、地権者の意向を確認しながら進めていただきたい。</p> <p>今後の具体的な検討を進めるうえでも、街の利用者や来街者の声、本研究会のような三鷹駅北口に関わる様々な団体の声を拾い上げ、受け止め、連携し推進できるような体制を築いていただきたい。</p> <p>報告書を作成するのが目的ではなく、これを受けてどのように街を変えていくかが重要である。今後の具体的な検討を進めるうえでは、地権者や街の利用者、関係団体の声を受け止め、連携して推進できるようなを築く必要がある。その際には、柔軟な発想により新たな企画を検討する場と、決定機関を分ける等、役割を分担させる視点が重要である。</p> <p>10年前は誰も新型コロナウイルスの流行を想像できなかった。未来は予想できないものであるが、変化する社会に順応していくことが大切である。社会に変化があった場合には関係者で集まり、最新の課題を共有して随時見直すことで良い街づくりにつながる。</p>
<p>C 構成員</p> <p>アドバイザー</p>	<p><b>5 今後の進め方について</b>  ～事務局より、資料1を説明し、その後意見交換～</p> <p><b>今後の進め方について</b></p> <p>イベント時にロータリー内を使用する事例について、アドバイザーからご紹介いただいた案はとても魅力的で、三鷹駅でも一般車両のロータリー側をイベントの時だけ通行止めにし、駅前を地域のお祭り等で使用できると、吉祥寺駅や武蔵境駅にはない、三鷹駅の良さとして、市民に魅力的に映ると思う。</p> <p>今後の進め方について、地権者の意向をきちんと確認しながら進めることが重要である。今後、社会ニーズは変化していくため、その変化を把握しながら基本方針を策定すると良い。</p> <p>最近では自動車に利用されていた空間を歩行者のたまり場空間として開放する事例が増えている。東村山では駅近くの道路約100mを通行止めにし、歩行者の空間として開放する社会実験を行い、多くの人が集まったようである。自動車利用者には少し不便をかけるが、中町新道の補助幹線道路から駅前区間を通行止めにして、イベント</p>

発言者	発言の要旨
	<p>等をすることができるかもしれない。吉祥寺駅や武蔵境駅にはない面白い空間ができれば、三鷹駅北口の新しい顔になるのではないか。</p> <p>今回は「交通」というハードの整備に関する検討であったが、今後は街でどのように楽しめるかをあわせて考えていきたい。</p>
	<p><b>6 その他連絡事項</b></p> <p>～事務局より、連絡事項の説明及び挨拶を行い、閉会～</p> <p style="text-align: right;">以上</p>